

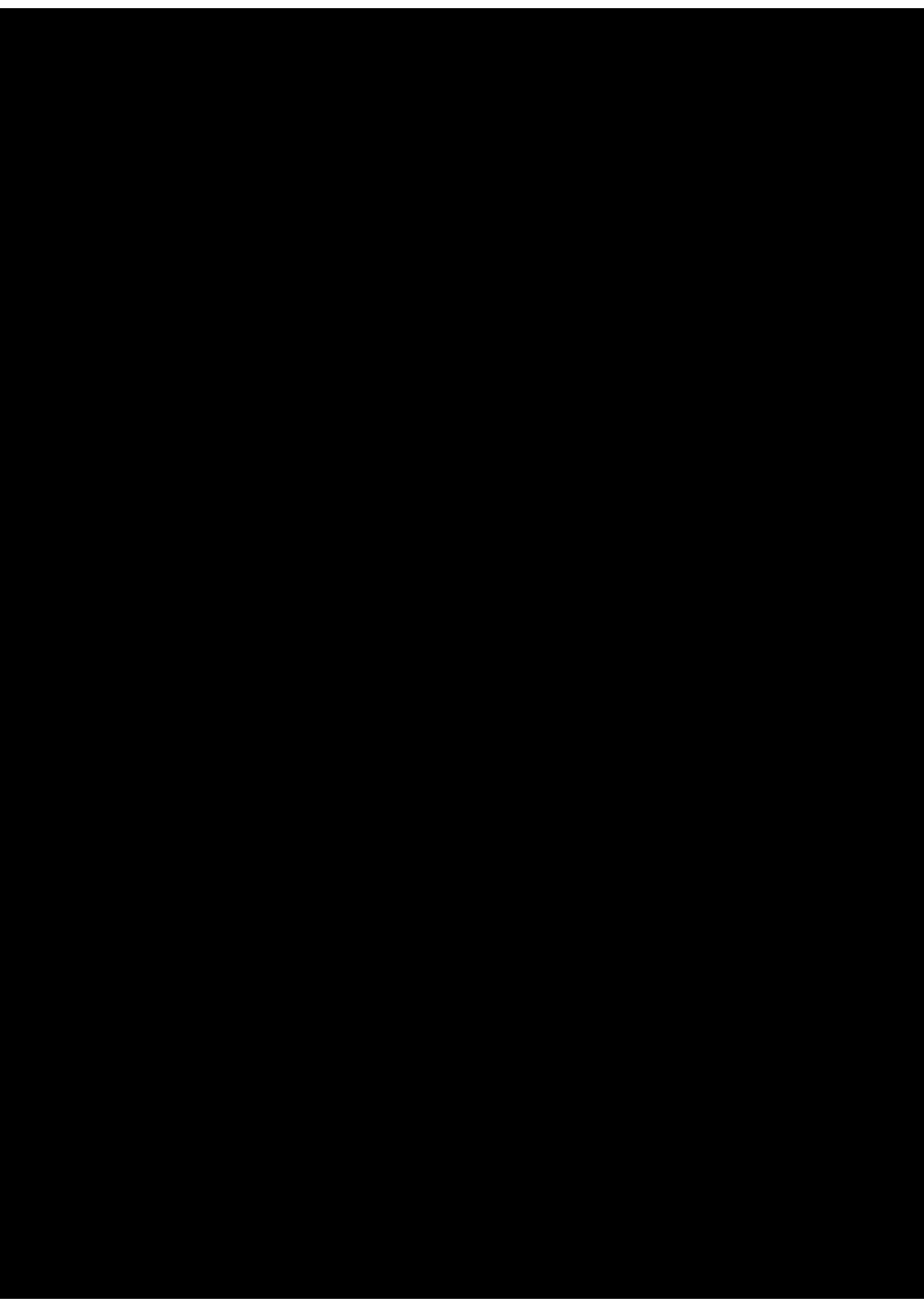
R18
FOR
ADULT
ONLY

贄
の
NIE NO MORI
木
森
II







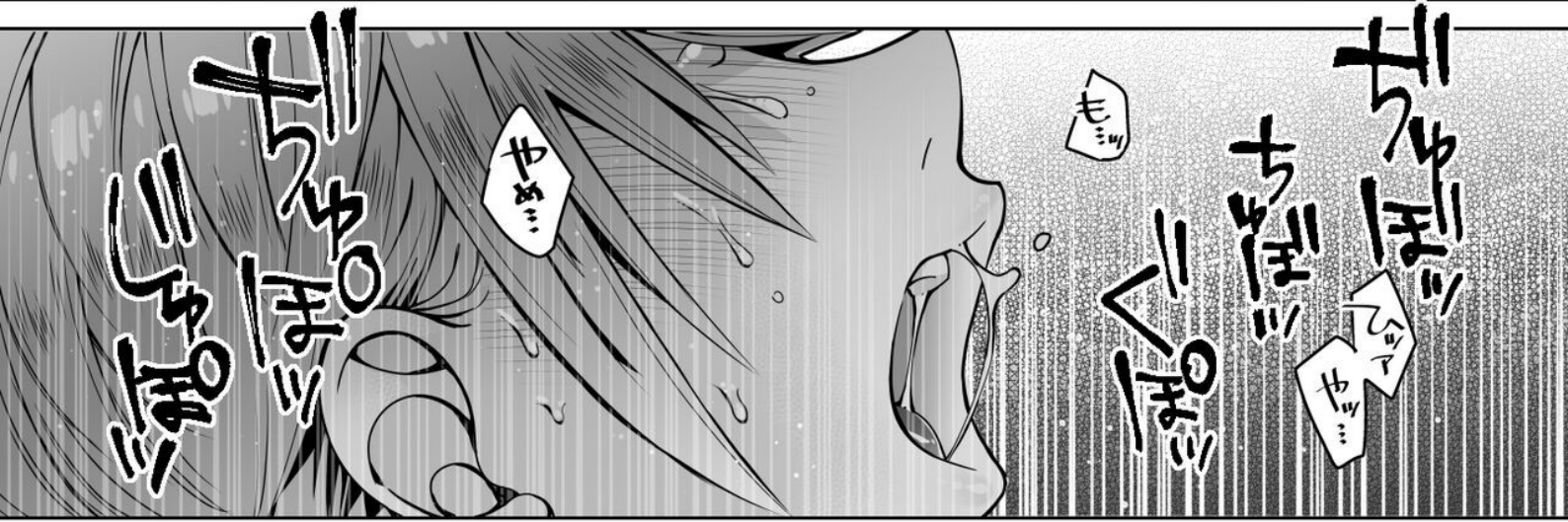


グボツ

奥に深く
突き上げられる
度に

尊厳を失って
いくような

グボツ
グボツ
グボツ



グボツ
グボツ
グボツ

モッ

モッ

グボツ
グボツ
グボツ

果てる度に

記憶が弾けて
消えるような

グボツ
グボツ

グボツ
グボツ
グボツ



グボツ
グボツ
グボツ

そんな地獄を
何日も何日も
繰り返している

グボツ
グボツ
グボツ

どうして
間違った？

原因は
何だった？

はっ

はっ

はっ

弟を二人で森に
向かわせてしまった
三年前から？

それとも
生贄の儀式を
行わなくなった
数百年前から？

は

は…
は…

は

それでも…

どうか弟だけは、

俺の

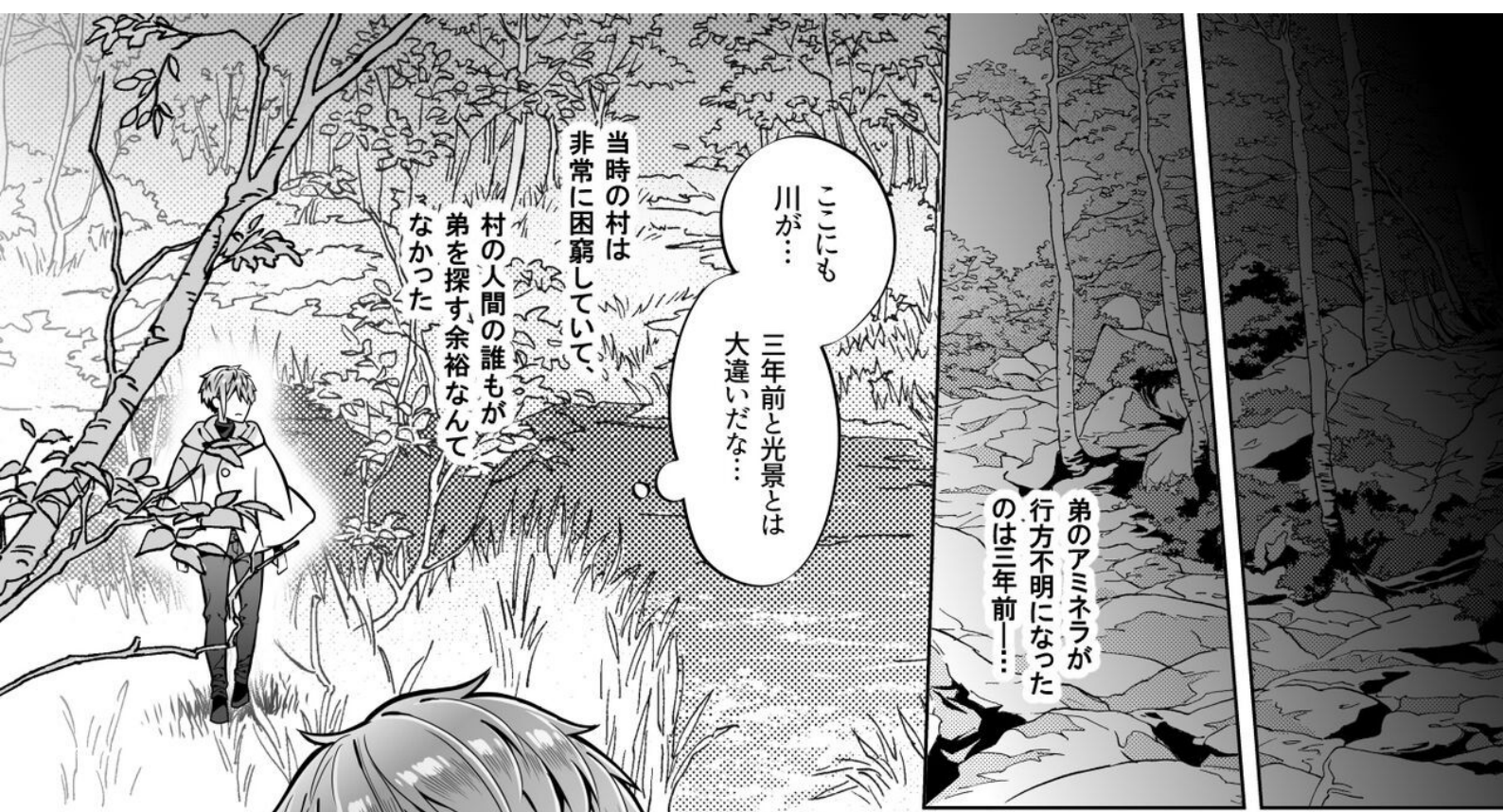
憐れな弟だけは

いつの日か

救われます

ように…

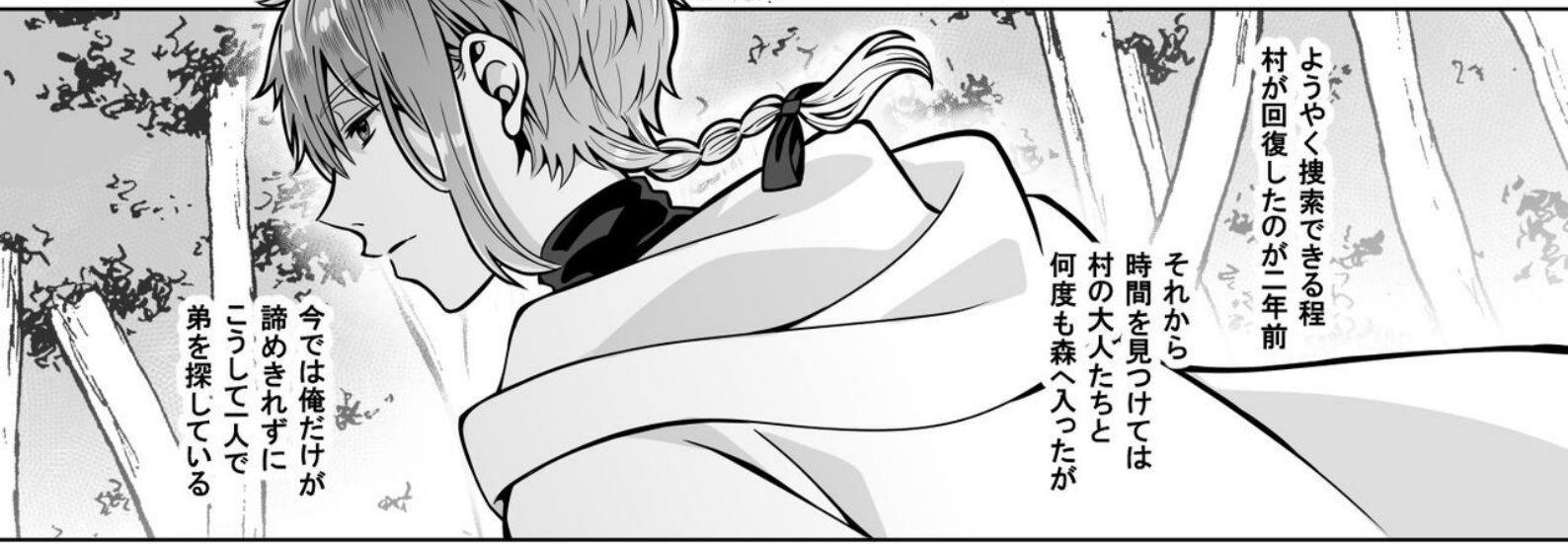




ここにも川が…
三年前と光景とは大違いだな…

当時の村は非常に困窮していて、村の人間の誰もが弟を探す余裕なんてなかった

弟のアミネラが行方不明になったのは三年前…



ようやく捜索できる程村が回復したのが二年前

それから時間を見つけては村の大人たちと何度も森へ入ったが

今では俺だけが諦めきれずにこうして一人で弟を探している



アミネラが行方不明になる日に言っていたな…

昔の村の行事に使われていたと



短い通路で奥には何も無い、

不気味な洞窟だった

あの洞窟…

…は、既に何度も探したな



…でもそれもそろそろ潮時かも知れないな…

随分と深い所まで来てしまった

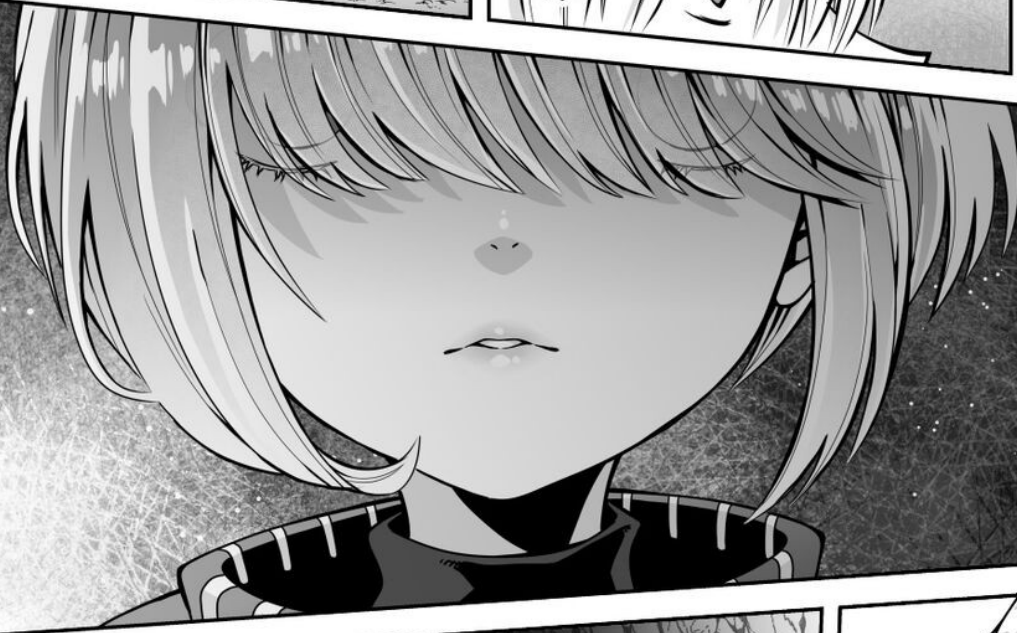
あ、



もう少し話をちゃんと聞いてあげれば良かった...

...ん？

入口に何かいる...？



あの姿、

あつ...

似てる... 弟に...!!



フイ



アミー...？



こんなに…
長い通路
だったか…?

空気が変わった
ような…

…何だか…
前来た時と
雰囲気
違う…?

!!
…!?
何だ今…



アッ…

!!

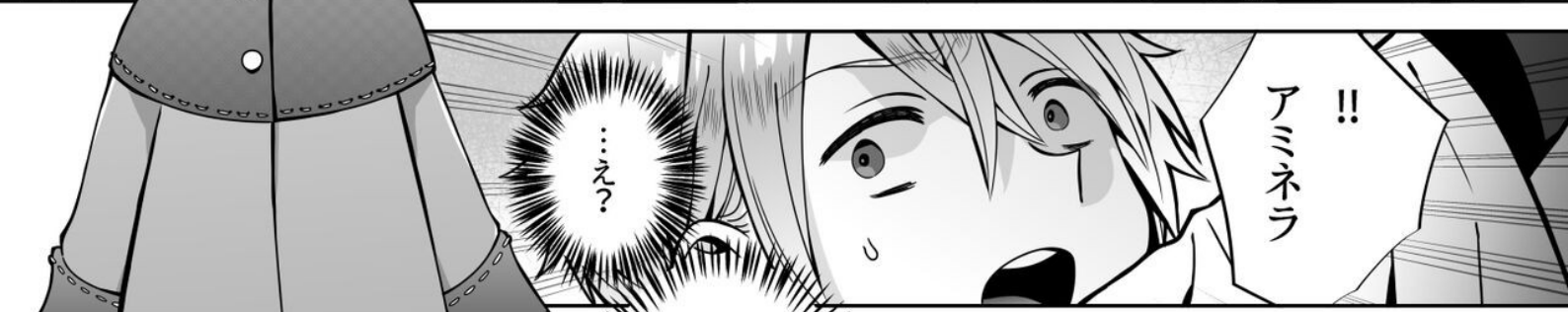
ツ…?!

なんだ
コイツ…!!



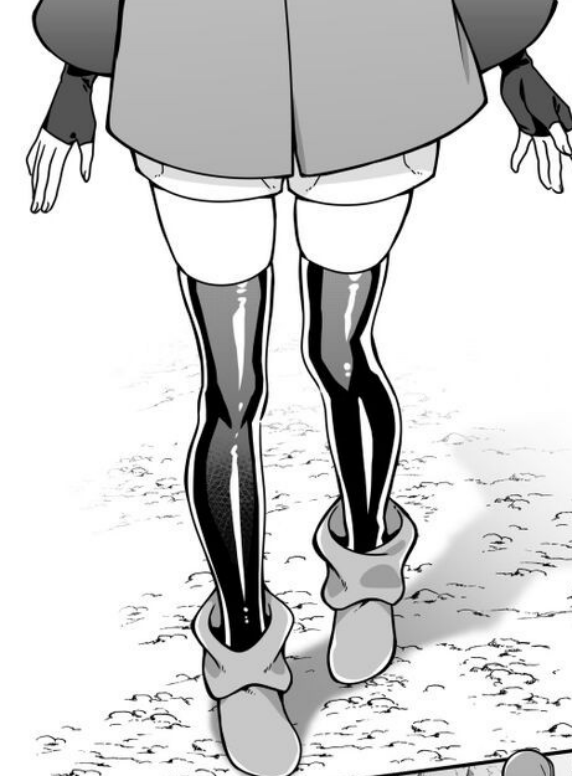
その子は
安全ですよ

安心してくだ
さい兄さん

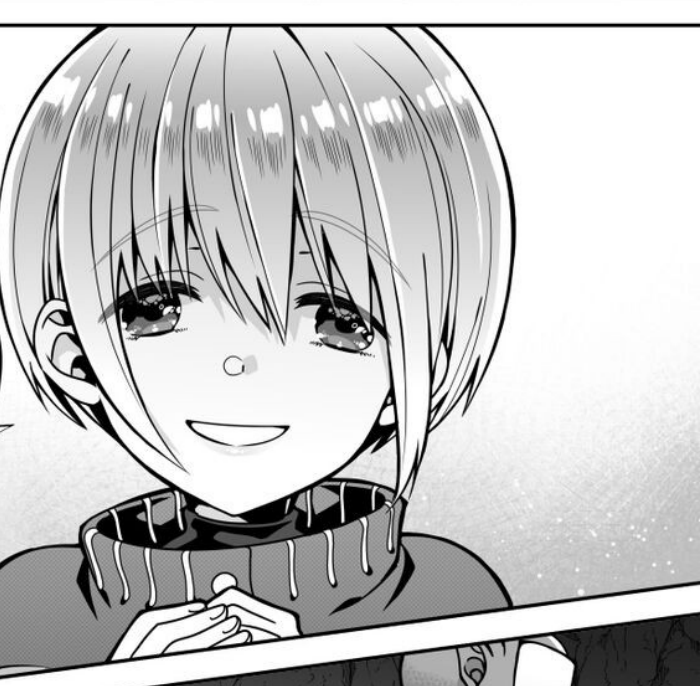


…え？

!!
アミネラ



三年前と
同じ姿…？
お久しぶりです
ヨリス兄さん
大きくなりましたね



僕の
子供です

ああ
そうだ



まず兄さんを
ここへ招いた理由を
お伝えしますね

わっ!!



?
変な洞窟にいる
巨人と弟…？
情報量が
多いな…

えっと…
アミー…？
こいつの正体
知ってるのか？
はい



そのような人型寄りの
木霊がごく稀に
誕生したんです

と言っても能力は
他の子供たちと
変わりありません



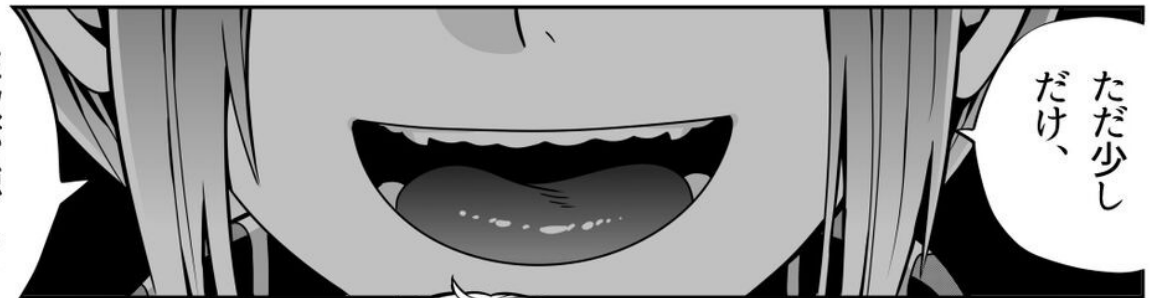
うわッ!!

な、何だよ
こいつ…!
さつきから—



その子は
突然変異で
産まれた子

三年前、
この森の主様は
まだ本調子で
なかったの…



ただ少し
だけ、

性欲が強くて
『お嫁さん』が
必要なんです



生殖能力は
ありませんが

可愛い我が子の
為になんとか
してあげたくて、

だから兄さんが
一人でこゝへ
来てくれるのを

僕たち
ずーっと待って
いたんですよ



おっぱいおっぱい
おっぱいおっぱい
おっぱいおっぱい

うん
上手上手



ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ

その穴から
中に入って…



ゴゴゴゴ…

まずはちんちんを
触ってみて
優しく
だよ



兄さんで確か許嫁
いましたよね
アルビーナ様
でしたっけ？



こういう経験は
お済ですか？
なッ



そ、
んな、
コトッ…
すみません
僕ったら
不躰な質問

久々の再会につい
嬉しくなっちゃって



なにッ…
中、入っ、あ

兄さん
力抜いて
ください
もう一本の触手で
乳首いじって
あげますね





それじゃあ次は本番

兄さんもお尻は初めてなのに上手にイけてえらいです！



グイッ

ヒッ!?

クキキ

ま、
待て!

待つて
くれ!!



?
どうしましたか

だ、だつて...
だ、だつて...

こんなの...
おかしいだろ

何が

おと男犯し
たりとか...

だから...

ああ
そんなこと



問題

ありません

女性が適任だと
仰りたいのですか?

そしたら兄さんは
アルビーナ様でも
差し出すおつもり
なんですか?

くはま

おち

びく...
びく...

そんな訳...ッ

あ、あ...

待つて...

待つて
まっ

弱音なんて兄さん
らしくないですよ



アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

ズズズズ

アッ

アッ

アッ

大丈夫ですよ
兄さん

力を抜いで
身を任せていれば
すぐ気持ちよ
くなるんですから

アッ

アッ

アッ

いッ
痛ッ…!!

止めて…ッ

ズズズズ

ズズズズ



ん？
もう出そう
なのかな？

交尾は初めて
だもんね

気持ち良くて
我慢できないね



無理…
もう…
ムシ

なんでおれ、
こんなめに
あつてんだ…？

腹の中は
苦し…

ばちゅん
ばちゅん
ばちゅん



えっ
待…
中やだッ
やめッ



あ…



兄さんの中に
ピッコロ
しちゅん
しちゅん



村の人が見たら
さぞ驚く
でしょうね♡

真面目な兄さんの
こんな姿—

わっ
兄さんも一緒に
イっちゃいました？



は...は...は...

やっと弟が
見つかった！

連れて
帰れば...

ゴウ...

また

幸せな生活に
戻れるよ。

あれ...？
俺なに
してんだ？

は...は...は...

は...は...

は...

ん？
兄さん大丈夫
ですか？

まだ一回しか
ヤッていないのに
気絶されちゃ
困りますよ...

相手はこの子だけ
じゃないんですから

兄さん？

母さんは

今日の薬は忘れず

飲んだらうか

昼から父さんと

村の収穫物を

調査して...

.....

ああ、その前に

アルビーナと

一緒に昼食を.....





感謝の証に村は
生贄を差し出し
主様の子を孕み
産んできました

でも長い歳月で
それを行う
人間は現れなく
なっただんです

だから僕が
その役を
つとめることに
したんです♡

ちゅぽ♡

僕が産めばそれだけ
森は豊かになって
村の回復にも繋がります

はぁ♡

僕もやっと
村の役に立って
嬉しいです

……あれ？
その顔理解できて
いないようですね

うーん…
望んで協力して
欲しかったんですが

事情は先ほど
説明しました
ので！

ままあ
SSSS

ビ
ク

兄さんも早速
主様のお役に
立ってくださいよ♡



やだ、やだ...っ
やめろ...!!

気持ち悪...



上手に交尾ができるよう手助けしてくれるんですよ

..は?!
なに...
それ...ッ

兄さんが途中で気をやつてもこれで安心ですね♡



なんで...?
手が勝手に...

あぁ、兄さんに主様からの贈り物ですよ



その衣装の中に主様の一部が入っています

その触手たちが兄さんの体を動かして——





手足が
動かないッ...!!

...の...!!

飲みたくないのに...
逃げられない!!



お...お...お...
お...お...お...

お...お...お...

お...お...お...





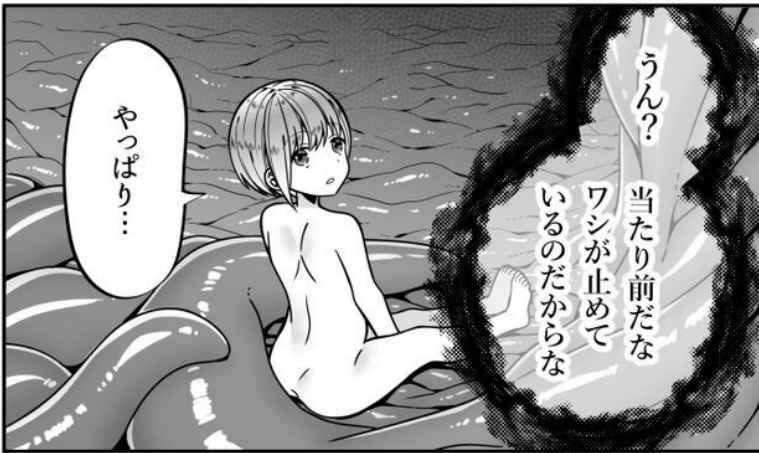
来週か来月か…
お腹の子達が
産まれたら必ず♡

数か月後—

あの…

聞いても
いいですか
主様

何をだ



僕の体、三年前から
成長していない気が
するのですが…



まあ
ワシの寿命も
永遠ではない
必ず訪れる

いずれお前を
解放してやる時は
必ず訪れる

安心しろ







毎日休む暇なく
犯され続けて……



いっままで……
続くんだ……

一体……
こんな日が



いやだ...
諦めない...

絶対に...弟と
脱出してみせる!!



諦めたり…
するもんか

絶対に…ッ

ガッ…

ガッ…

グッ…

ガッ…

グッ…

ガッ…

ガッ…

グッ…



そうか…
好きに
するとい

ぽあ…

やった♡

ありがとうございます
ございます
主様



村？

はい
久々に様子を
見たくなって…

家族のことも
気になるし



見つからないよう
注意しなきゃ…



わっ
村の人たち
だ…



もう諦めちゃえば
いいのに…

ひよつとして
兄さんを探してる…？



!! 誰かいる

元気お出し
アルビーナ

しかし兄弟揃って
どこへ行って
しまったのかねえ



…久々だな

母さん達
元気かな



…アルビーナ…?
確か兄さんの許嫁の…

毎日大人が手分けして
探しても上着一枚
見つからないなんて…

おばさん私…
やっぱりもう一度
探しに行つて—



おやめ! 今日はまだ
男に任せてアンタは
家に帰りな

休んでなんか
いられないわ…

ヨリスの身に
何かあったら
私…私…

グス…
グス…



…さあさあ
そんな調子だとアンタが
先に身体を壊しちゃうよ

自慢の髪も
こんなに荒れて…

ヨリスが帰ってきて
その姿を見たらきつと
心配するさね

おばさん…

……



ごめんなさい
ちよつと疲れちゃった
みたいで…

村はさらに
豊かな土地に
なっていました

流行り病も
去った様です

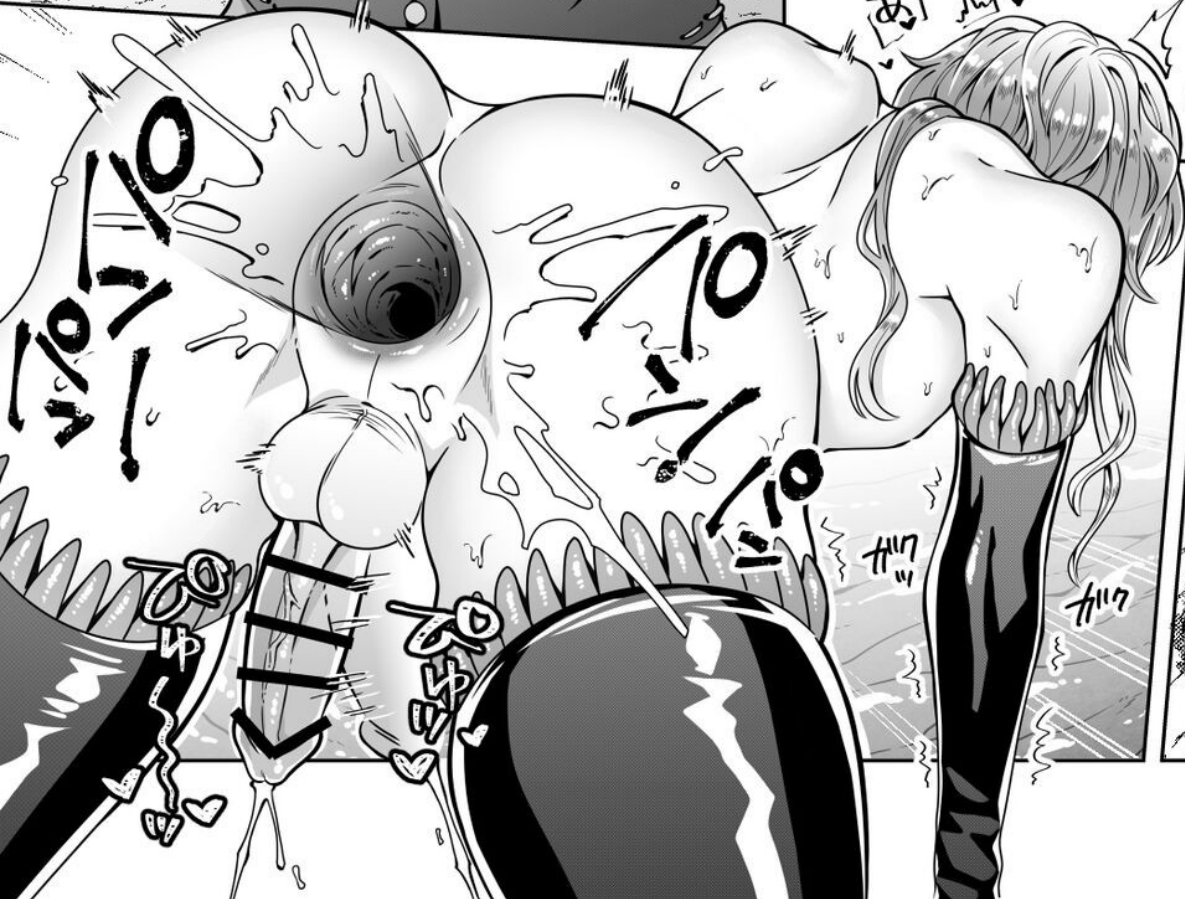


主様…
戻りました

? 浮かぬ顔を
しておるな…
どうした



全て主様の
おかげです
感謝します



…兄さんにも土産話を
したので少し会ってから
そちらへ向かいます

うむ



ごめんね
すぐ済むから
待っててね

仕事がすっかり
板に付いて
きましたね



兄さん

はぁ

はぁ

はぁ



皆ちよつと
休憩してて

僕、兄さんに
話があるの



僕、さっき
村の近くまで
行ってきました

皆とても
元気そう
でしたよ

そうそう、偶然
アルビーナ様
お会いしたんです



彼女、妊娠して
いましたよ
大きなお腹、
愛しそうに
撫でていました

兄さんが
ここへ来てもう
一年ですからね

僕たちを探しに
くる人も今は
全然いないし、

アルビーナ様も
村の人達も誰も…
僕らのこと覚えちゃ
いないようです

…
うそ…

…嘘だ…

信じたくないのは
分かりますが
事実です

嘘だ…

アルビーナ
が…

兄さん

ひびく

いやだ…

アミー…

嘘だと
言ってくれ…

兄さん
安心して

僕たちが
いますから

ここなら
どんな兄さんでも
愛してもらえます

もう村の為に
必死で働かなくて
良いんですよ

だから忘れて
しまいましょう

ね？

そうだ♥久々に
兄さんが抱かれてる
様子を見学させて
くださいよ

快楽に悶える姿が
見たいんです



兄さん
聞こえますか？

グチョグチョ
すっこい♡
下品な音♡

すっかり
ちんちん大好きに
なりましたね♡
子供たちが夢中に
なるわけです♡

穴がめくれそうな程
吸い付いてますよ♡

わあ
すっこい！

あは♡
突かれる度に
ここがヒクヒク
してる♡

たくさん出して
いいですよ♡

もう使いません
からね♡

ええ〜もつと
兄さんの下品な姿を
見せてくださいよ♡

また
出た♡



はっはっはっ

!!

はっはっはっ

はっはっはっ

ふんふん

ふんふん

キウキウ

はっはっはっ



ふんふん

はっはっはっ



兄さんのお腹
精子でぱんぱん...♡

孕みそうな程
濃いタツプリ
出してもらって
良かったですね♡

と

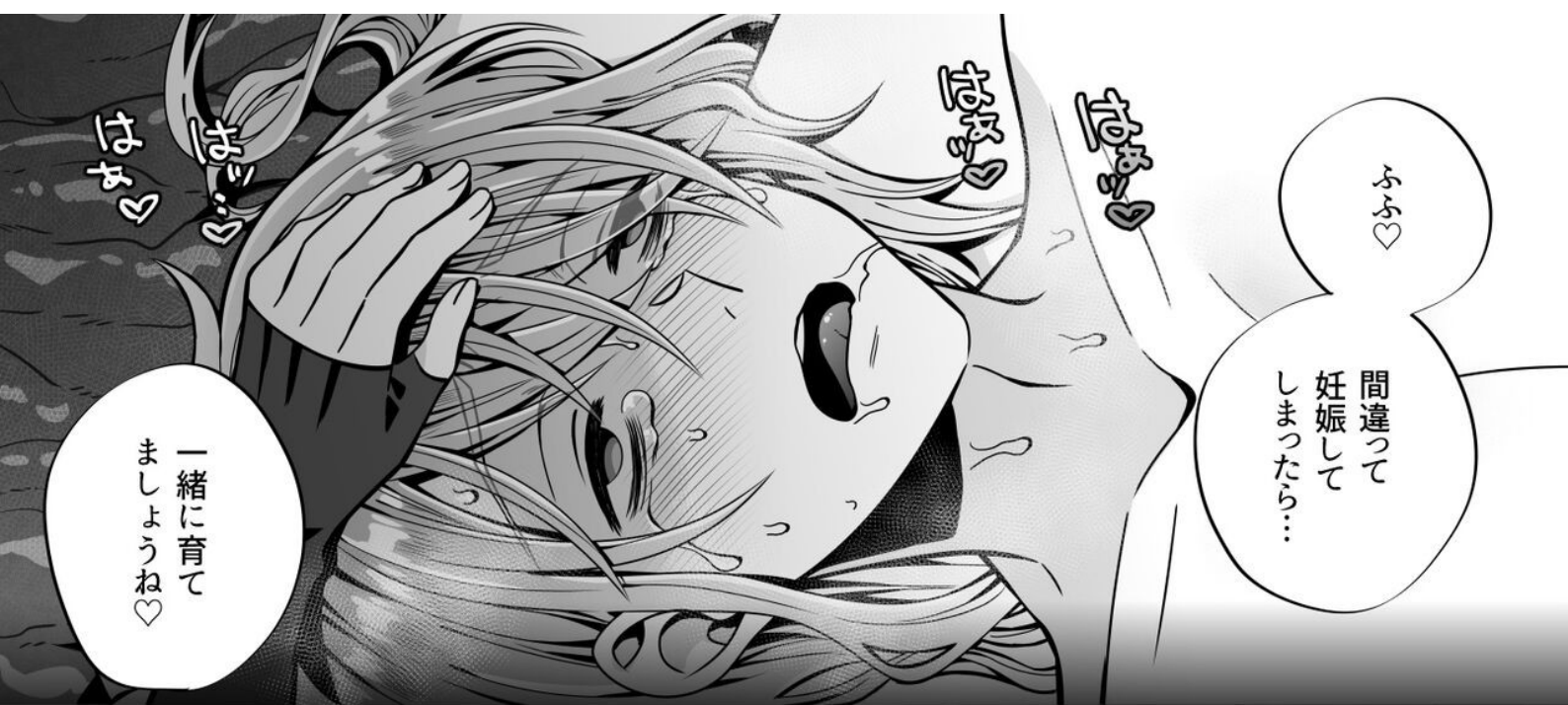
ふん...♡

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ



ふふ♡

間違つて
妊娠して
しまったら…

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

一緒に育て
ましようね♡



…あれは最近
大人しいな



とても
家族思い
なんです

真面目で
頑固で、

兄は昔から
そうでした



ああ…
そうですね

お嫁さんの自覚が
出てきたようです

ならば
よい

しかしお前と
違って強情な
人間だったな



だから兄さんなら
僕を探していずれ祠まで
現れると信じていました

そしてその時は
僕が兄さんを
救つてあげたいと

貧しい村の
次の長として

小さい頃から
周囲の期待に応えようと
必死に努力していた

兄さんをその
重荷から解放して
あげたかった



だから
主様には
本当に感謝
しているんです

村を救い、

僕たち兄弟を
ここへ迎え入れて
くれた事を……

おかげで今の兄さん、
すごく幸せそう♡





…ただ、あれから
兄さん返事も反応も
しなくなっちゃって…

自分が何をされて
いるかすら分かって
いない様子なんです

自分が誰だかも
忘れちゃったの
かもしれない

それでも毎日
あんなに愛されて

きっと今が一番
幸せだと思います



…主様
僕にとつての幸せは
主様の子をこれから
孕み続けることです

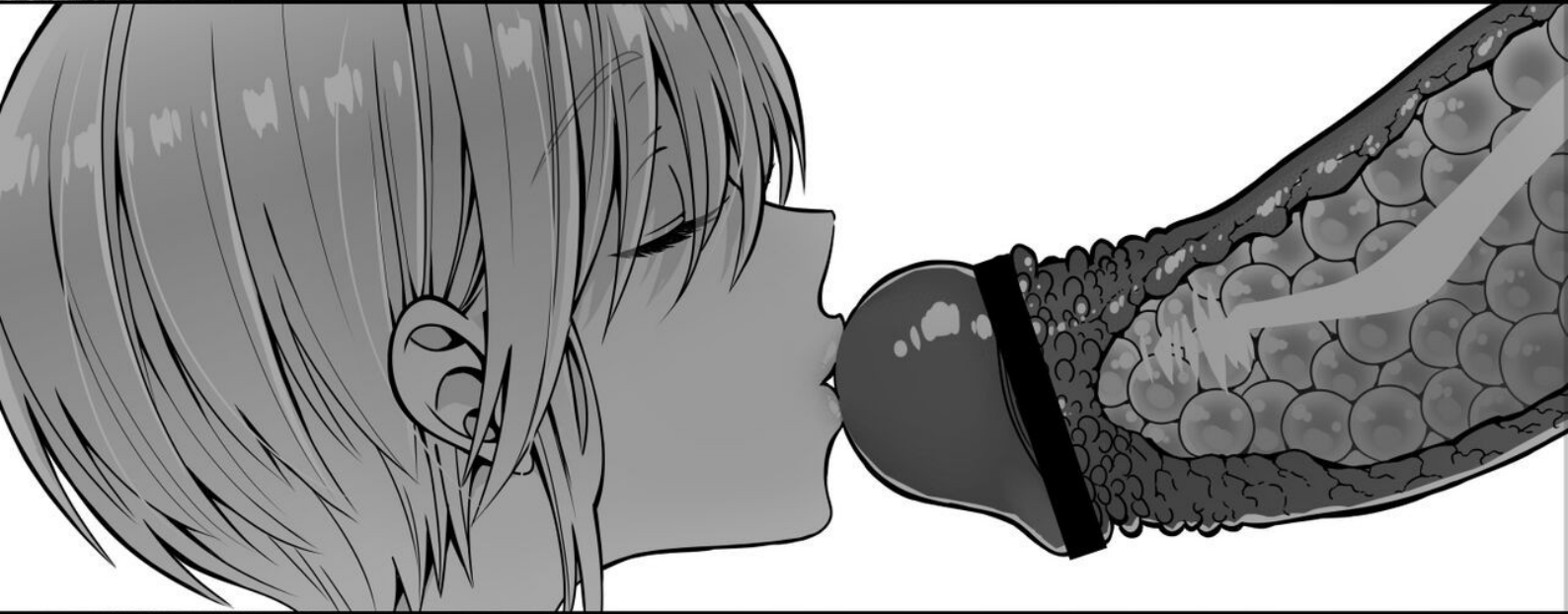
それと愛する主様と、
子供たちと兄さん…
共に生きてゆくことです

そうか…
ワシには人間の幸の
定義なぞ分からぬよ

おはは、
そうですか

叶えて
ください

どうか、



主様が望む
時までずっと…

お役に立って
みせますから——





あ

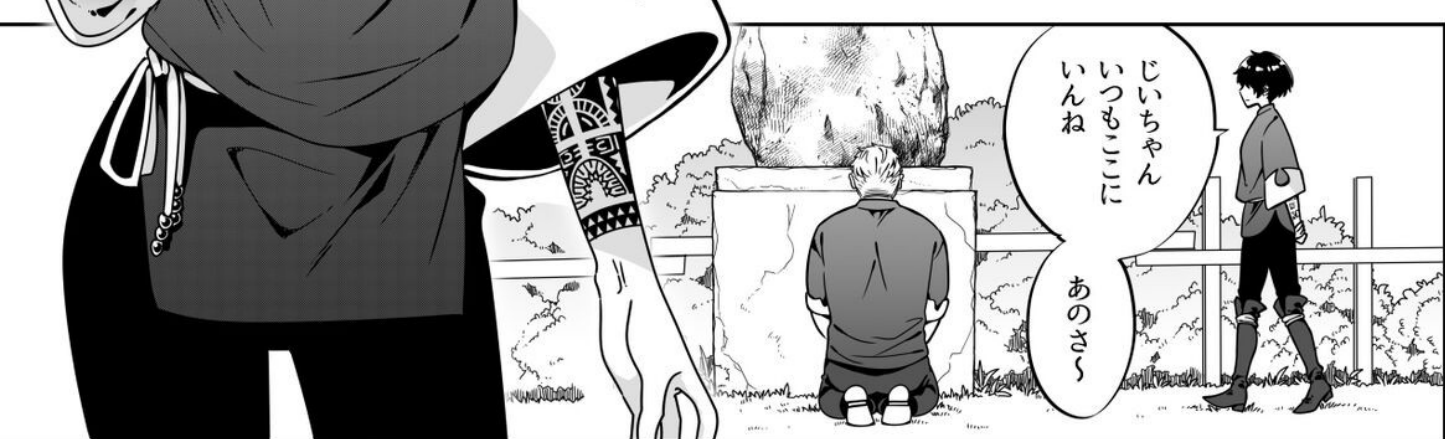
おはよう
ございます

おはよー

じいちゃん!



やーっぱ
ここにいた



じいちゃん
いつもここに
いんね

あのさ



…えー?
でも…

集会は
後で構わん

隣に
来い

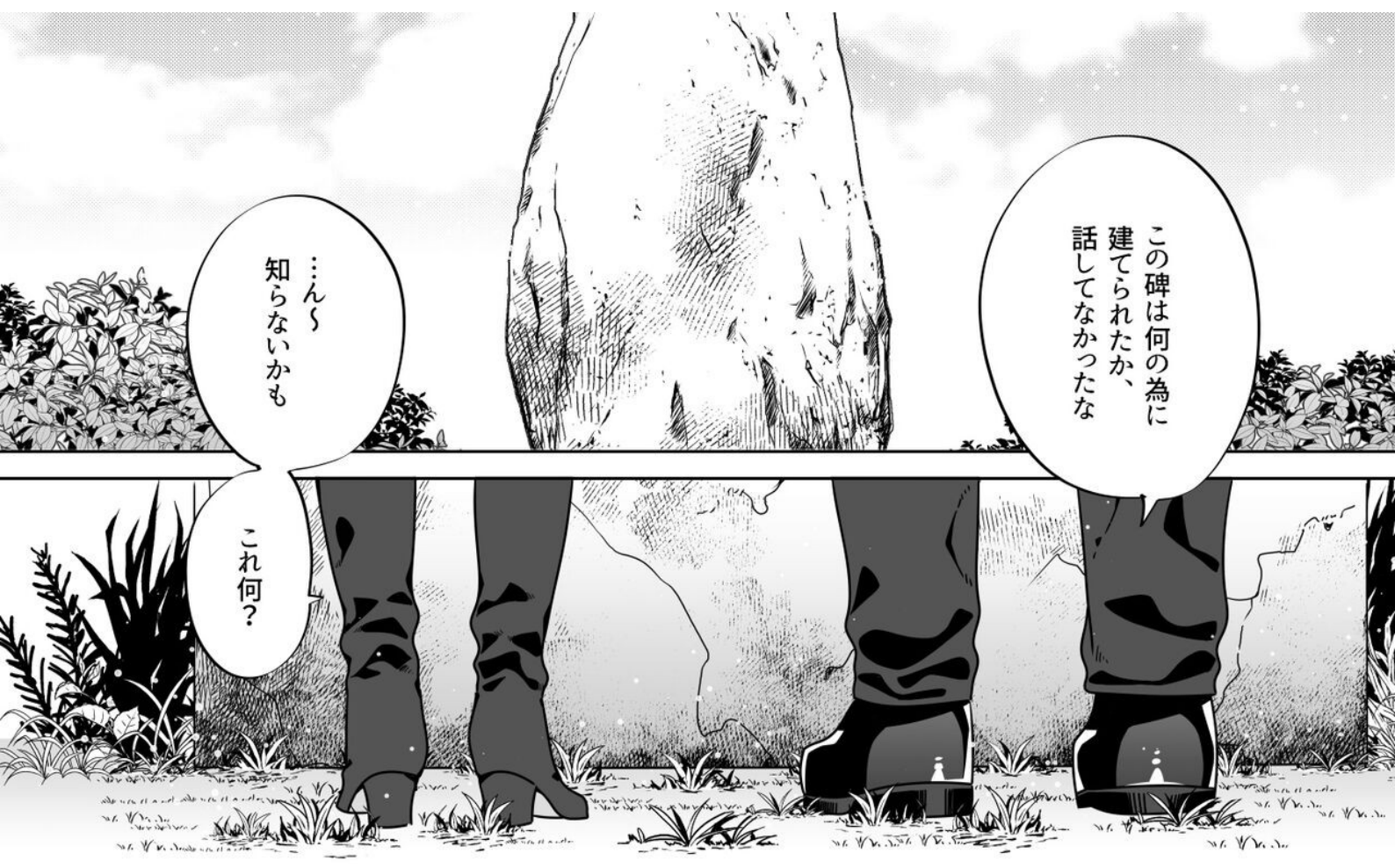
……

じいちゃんも
今日の集会来て
くんない?

まだ俺一人じゃ
無理だと思おう

父さん今は
別件だし

お前か…
丁度良い
話がある




この碑は何の為に
建てられたか、
話してなかったな

……ん
知らないかも

これ何？

ここは当時……
今より小さく、
土地は荒れ果てた
貧しい村だった

これは曾祖父の
兄二人を偲んで
建てられた碑だ



搜索は幾年にも渡った……
それでも二人は
見つからなかった……

まず弟のほうか
森へ入り……
それを追って
森へ入った兄も消えた



だがな…
その後、



土地は豊かになり
森にも川や獣が
戻ってきたのだ
だから村人達は
こう思うことにした

森の神が二人を
連れ去り…
代わりに村に平和を
授けたのだと…
!



今の村はその兄弟の
犠牲があつてこそだと
信じる年寄りが多い…
今の話、
信しろとは言わんが
この手の話題が出たら
軽はずみな発言は慎め

お前が村の長になる
前に…この話だけは
伝えておきたかった



あの森には
誰も近付くな

この掟だけは村に
残しておくようにと…
先代からの願いだ



え…
でもその話
ほんとう？

何が言いたいか
分かるな？

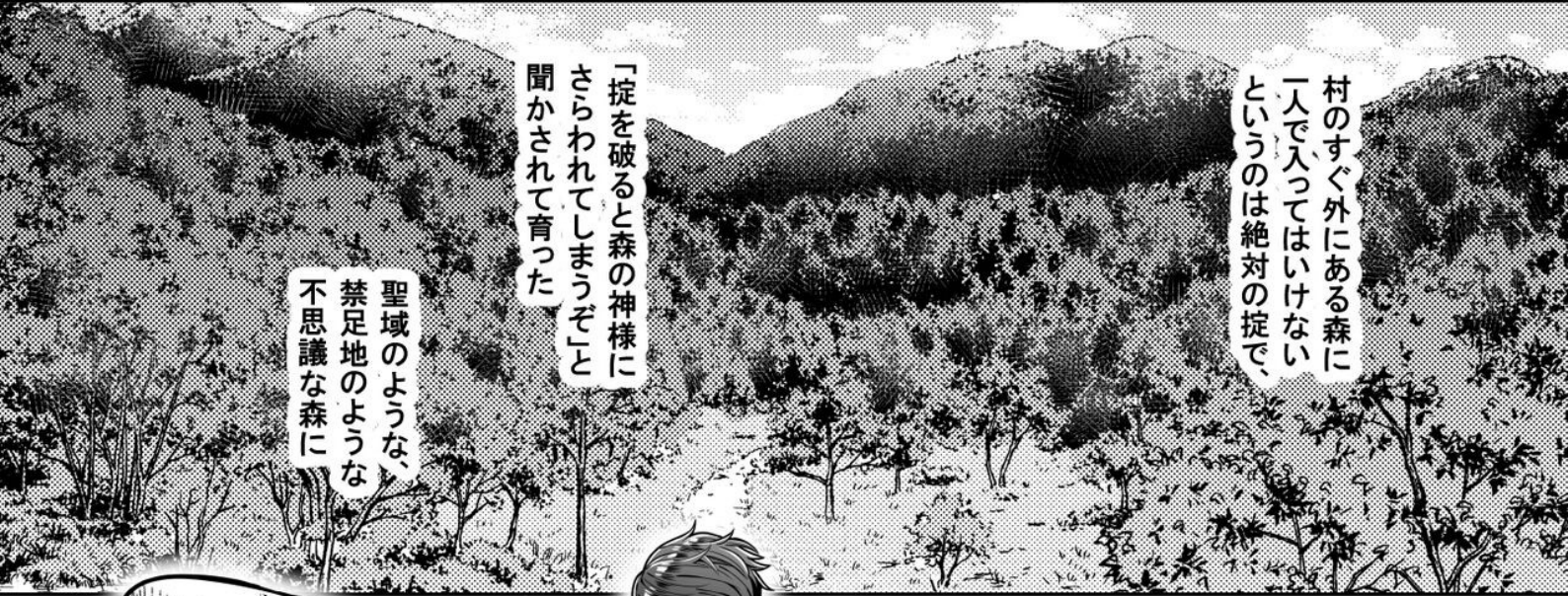
行方不明になった
上の兄はお前と
同年だったそうだ



俺はしばらく
そこに残って、
消えた二人の
兄弟のことを
考えていた



集会には後で寄ると
言って、じーちゃんは
一度家に帰っていった



村のすぐ外にある森に
一人で入ってはいけない
というのは絶対の掟で、

「掟を破ると森の神様に
さらわれてしまうぞ」と
聞かされて育った

聖域のような、
禁足地のような
不思議な森に



その兄弟が本当に
存在したのなら、

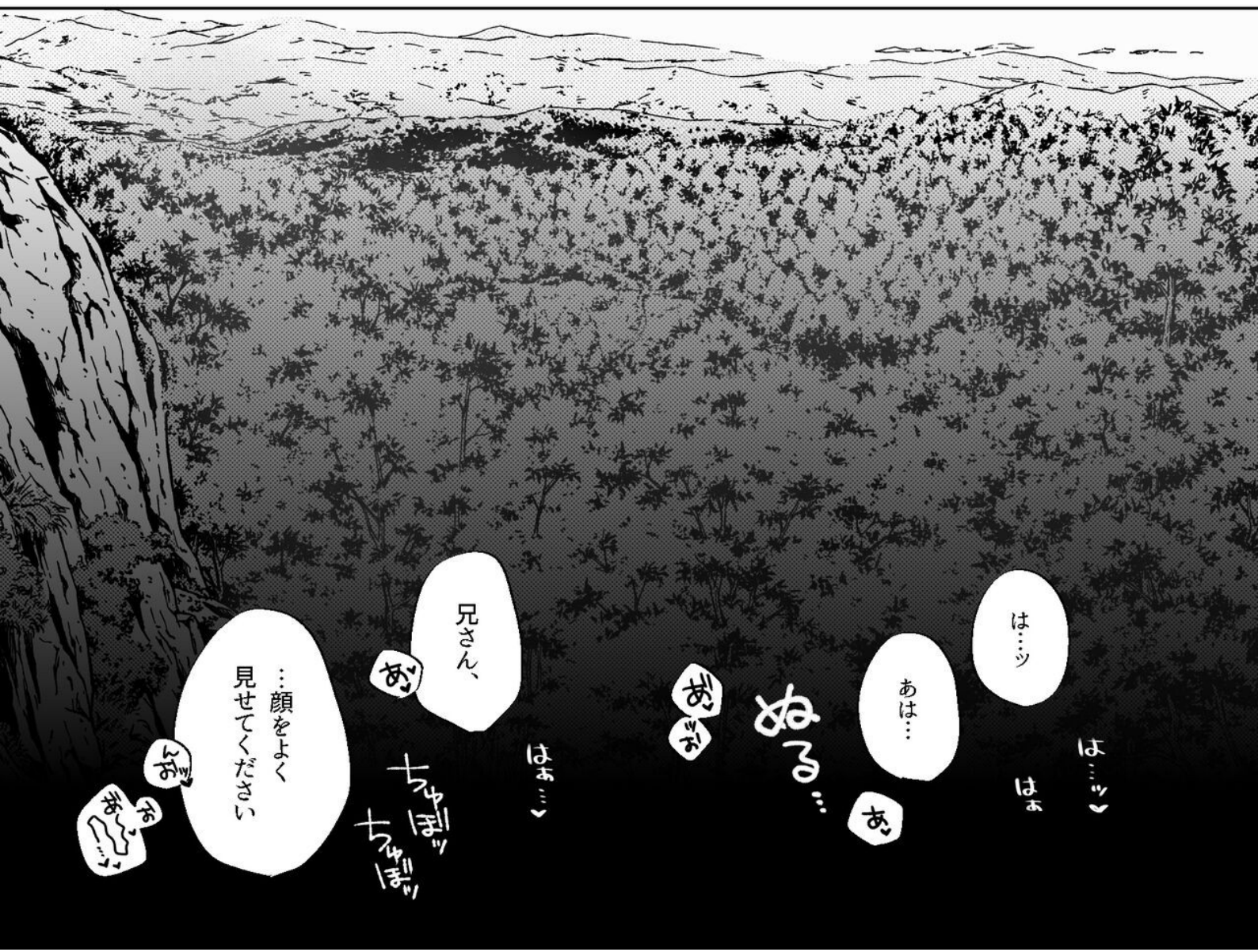
あの森に
名付けられた由来
にも納得ができた



あ
あ

贄の森

…か



…顔をよく
見せてください

兄さん、
あ

ちゃほっ
ちゃほっ

はあ…

あ

ぬる…

あは…

あ

は…ッ

はあ

は…ッ

あ
あ
あ

口
開けて…

ふふっ…
お上手です

はぁ

ちゅぽ…

ちゅ…

兄さん
可愛い…♡

はぁ
あ…

はぁ

これからも…
ずっと一緒ですよ

はぁ…

はぁ…

はぁ

はぁ

はぁ

何十年

何百年先
だって♡

END

あとがき

初めまして。夏ジャムです。

この度は「贄の森II」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
応援して下さるかたに支えられ、無事に2作目を発表することができました。
続き物ということで、若干心配もありましたが それでもご購入いただいたかた、
ここまでお読みいただいたかた、本当にありがとうございます。

前作の終わり方がスッキリしていた分、今回は色々詰め込みすぎてしまい その結果
描ききれなかった部分もありましたが それ以上の「好き」を詰め込みました。

楽しんでいただけたなら幸いです。

TWITTER:Natsu_jaM_

PIXIV:76675996

2022 May 夏ジャム

前作のあらすじ

貧しい村に住む一人の少年は、祖父の書齋で昔この村で行われていた生贄の儀式の存在を知る。村の困窮化を救う手掛かりになるかもしれないと考えた少年は、儀式に使われていた森の奥の祠へと訪れた。

祠の奥にいたのは触手の外見をした森の主。そこで少年は、生贄の子達は森の命である木霊を孕むことで森とその周辺の平和は保たれていたことを知り、自身が生贄となって森の主の子供を孕み産み続けることを決意する。

最初は森の主に恐れていた少年も徐々に快楽へ溺れてゆき、行為を喜んで受け入れるようになった。

今作はそれから、三年後の話……





ヨーリス

今作の主人公。
アミネラの兄。
真面目で家族思いの少年。
婚約者がいる。



アミネラ

前作の主人公。
三年前に森の主に見初められ、
それからずっと主の子を孕み
産み続けている。